



2023年10月30日

各位

会社名 協栄産業株式会社  
代表者名 取締役社長 平澤 潤  
(コード番号 6973 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役常務執行役員  
村本 篤  
(TEL 03-4241-5511)

## 第2四半期連結累計期間業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年5月12日に開示いたしました2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日開示の実績値との間に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 第2四半期連結累計期間業績予想数値と実績値との差異について

2024年3月期第2四半期連結累計期間(2023年4月1日~2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 29,500	百万円 450	百万円 430	百万円 170	円 銭 56.55
今回実績(B)	31,519	823	929	670	223.17
増減額(B-A)	2,019	373	499	500	-
増減率(%)	6.8	83.0	116.1	294.6	-
(ご参考) 前第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	31,003	1,083	1,095	670	223.01
(ご参考) 前第2四半期実績比(%)	101.7	76.0	84.8	100.1	-

#### 2. 第2四半期連結累計期間業績予想数値と実績値との差異の理由

売上高及び営業利益については、半導体デバイス事業において、製品の供給逼迫状況がピークを過ぎたことにより受注残が出荷へと繋がり、売上高および売上総利益が予想より増加したこと、また、グループ全体において販売費及び一般管理費の削減等に努めたことにより、予想を上回る結果となりました。

経常利益については、9千3百万円の貸倒引当金戻入額を計上したこと等により予想を上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、7千万円の投資有価証券売却益を計上したこと等により予想を上回る結果となりました。

なお、当連結会計年度の連結業績予想については、当第2四半期連結累計期間において業績は当初見通しを上回る結果となっておりますが、国内外経済の減速懸念や、半導体分野を中心とした在庫調整など、不確定要素が多いこと、また、2023年2月27日付「プリント配線板製造事業撤退に関するお知らせ」にて公表しました当社連結子会社 協栄サーキットテクノロジー株式会社の解散および清算に関し、2023年3月期決算において12億4千6百万円を特別損失に計上しておりますが、現時点において業績に影響を与える未確定な要素が多いことから、2024年3月期の連結業績予想を変更いたしません。今後、業績予想に修正が必要となった場合には、直ちに公表いたします。

上記の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上